

科目名	臨床栄養学 Clinical Nutrition		担当教員 (研究室番号)	林 辰弥 (507)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	tatsuya.hayashi@mcn.ac.jp						
履修年次	2年次後期	科目区分	専門支持科目		選択区分	必修	単位数(時間)	2(30)		授業形態	講義	科目等履修生	否
科目目的	近年、日本人の食生活は急激に変化し、かつての食料不足による単純な欠乏症は激減し、そのかわりに過食による生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症など)が増加の一途をたどっている。このような患者様の生活面も管理する役割を担う看護師にとって、栄養素の消化・吸収、代謝さらにはそれらの働きを理解することは、患者様の病態に対応した適切な食事療法、栄養指導のために必要不可欠である。本講義では、1年次で学んだ生化学の知識をベースに、人体の生命維持のために必要な栄養素を理解することを目的とする。												
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)											
	関連するDP	B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解)											
到達目標	<p>栄養素の種類と働きを理解できる。</p> <p>食物の消化と栄養素の吸収・代謝について理解できる。</p> <p>食品のエネルギー、エネルギー代謝を理解できる。</p> <p>人間の食文化、各種食品に含まれる栄養素について理解できる。</p> <p>栄養ケア・マネジメントについて理解できる。</p> <p>栄養状態の評価・判定法を理解できる。</p> <p>各ライフステージに必要な栄養素について理解できる。</p> <p>各種の疾患とそれぞれに対する食事療法について理解できる。</p> <p>ヒトの健康と栄養との関係を理解できる。</p>												
成績評価方法(基準)	出席日数(3分の2以上を必要とする) 定期試験(90%)、レポート(10%)												
再試験の有無と基準等	再試験は教員が必要と認めた場合、不合格者全員に対して実施する。												
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能③ 医学書院												
参考書等													
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	栄養学は、種々の栄養素の働きや役割に関する学問です。1年次で学んだ生化学の復習もしつつ、各種栄養素の吸収、役割、代謝などに関してさらに理解を深め、それに基づく栄養ケア、各種疾患別の食事療法に関しても学びましょう。わかりやすく講義をすることを心がけますが、わからないことがあれば、講義中、講義後にかかわらずいつでも気軽に質問してください。												
備考													
回	学習項目				学習内容				主担当教員	授業方法			
1回	人間栄養学と看護				栄養を学ぶということ、保健・医療における栄養学、看護と栄養				林	講義			
2回	栄養素の種類とはたらき				糖質、脂質、タンパク質及びビタミンの種類と働き				林	講義			
3回	栄養素の種類とはたらき 食物の消化と栄養素の吸収・代謝				ミネラル及び食物繊維の種類と働き、水の働き 食物の消化				林	講義			
4回	食物の消化と栄養素の吸収・代謝				栄養素の吸収、血漿成分と栄養素、栄養素の代謝				林	講義			
5回	食物の消化と栄養素の消化・吸収 エネルギー代謝				吸収・代謝産物の排泄 食品のエネルギー、体内のエネルギー、エネルギー代謝の測定				林	講義			
6回	エネルギー代謝 食事と食品				エネルギー消費 人間の食事と食文化、日本人の食事摂取基準				林	講義			
7回	食事と食品 栄養ケア・マネジメント				食品と栄養素、食品群とその分類法、食品の調理 チームアプローチと栄養ケア・マネジメント				林	講義			
8回	栄養ケア・マネジメント				栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケア計画、栄養ケア計画の実施とその確認、栄養ケアマネジメントの評価				林	講義			
9回	栄養状態の評価・判定				栄養アセスメントとその歴史、栄養アセスメントの目的、栄養状態の評価・判定法				林	講義			
10回	ライフステージと栄養				乳児期、幼児期、学童期、思春期・青年期における栄養				林	講義			
11回	ライフステージと栄養				成人期、妊娠期、授乳期、更年期における栄養				林	講義			
12回	ライフステージと栄養 臨床栄養				高齢期における栄養 チームで取り組む栄養管理、栄養補給法				林	講義			
13回	臨床栄養				病院食、経腸栄養製品、静脈栄養剤、疾患・症状別食事療法の実際				林	講義			
14回	臨床栄養				疾患・症状別食事療法の実際				林	講義			

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
15回	臨床栄養	疾患・症状別食事療法の実際、場面別の栄養管理、がんの食事療法	林	講義

学 習 課 題

実務経験を活かした教育の取組